



平成25年 寄居町成人式 414人が新成人に!

特集

町では、1月13日に中央公民館で成人式を開催しました。当日はおだやかな天候のなか、同級生、恩師との久々の再会に喜ぶ新成人たちの笑顔があふれていました。今年、成人を迎えたのは414人。式には315人が出席し、成人としての新たな一歩を踏み出しました。

青年主役の成人式

寄居町の成人式は、19歳から21歳の町内3中学校の卒業生と、7地域公民館長、中央公民館長で構成された「成人式運営委員会」により運営されています。運営委員会では「自分達が主役の成人式」を創り上げるため、青年委員が昨年7月より会議を重ね、積極的にアイデアを出し合い準備を進めてきました。当日の受付、アトラクションや式典の司会・進行等の運営にもあたっています。



エコキャップリサイクル活動
「地球に愛を! 子どもに愛を! プロジェクト」
成人式で取り組む、エコキャップリサイクル活動「地球に愛を! 子どもに愛を! プロジェクト」は今年度も3回目となりました。エコキャップリサイクルとは、ペットボトルのキャップを集めると、発展途上国の子どもたちにワクチンが届けられるというものです。キャップ860個でポリオワクチン1人分になります。8月から中央公民館ほか6箇所に設置した回収箱と、成人式当日出席した新成人が持参したキャップを合わせると121、692個のキャップが集まりました。



成人の誓い

今年の成人の誓いでは、守屋天馬さんと大澤美希さんが、新成人としての決意や夢を発表してくれました。会場の新成人たちも緊張した面持ちで聞き入っていました。(内容は一部抜粋)



守屋 天馬さん
新春を迎え、新たな決意を胸に誓うこの良き日に、私たちが新成人のために、このような盛大な式典を開催させていただきます。



大澤 美希さん
年が明け、春が近づき、まだ寒いながらも、木々や花々は温かい日差しを夢見て、少しずつ成長を続けています。この春を待つ日にお祝いしていただけることを、大変嬉しく思います。二十歳とは節目の年です。私は、誕生日を境に、社会人として第一歩を歩き、責任感も今までより一層強くなり、過さず、くものだと思っていました。

ざいました。感謝の気持ちと、新たな決意、将来の夢、そして大きな希望を忘れることなく、未来へ向かって歩んでいくことを誓います。

これからの時代を生きる我々新成人は、多くの困難に直面していくことになると思います。しかし、それらを乗り越えて強く生きていかなければなりません。必ず、夢は叶うのです。信じるこの勇氣、絆を大切に、我々が育つたこの寄居町、そして日本が、元気で住みやすい社会になるよう、力を合わせて頑張っていきたいと思います。

最後にありますが、本日は成人の誓いという大役を任せていただき、ありがとうございます。

そのような私たちがこれからできることがあると思います。それは、いつもと変わらない日々の中で、明日も明後日も、変わることのない時の流れを精一杯に受け止めること、そして笑うことです。それが、これから生きていく私たちにできることです。未来に待ち受けるすべての出来事に期待と不安を抱きながらも、冬から春になる今の季節のように、いつか木の葉を生い茂らせ、花々を咲かせることを夢見ながら、私たちは生きていきます。



最終打ち合わせ 8:30



成人式を直前に控え、最終打ち合わせが行われました。各々真剣な面持ちで、お祝いの雰囲気の中にも適度な緊張感が流れていました。いよいよ本番です!

受付 9:00



19歳・21歳の運営委員と地域公民館長が中心となり、新成人を迎えました。旧友との再会を懐かしむ声所々から聞こえてきました。

記念撮影 10:00



晴れ着に身を包んだ新成人の皆さんは、地区ごとに記念撮影を行いました。写真は、文字入れされた後、町からの記念品として新成人に郵送されます。

11:00

アトラクション



石井琢也さんと立花圭さんの進行によりアトラクションが行われました。卒業アルバムなどからピックアップした写真で作ったスライドショーがスクリーンに映し出されると、会場からは大きな歓声が上がりました。懐かしい写真で中学時代を思い出した後は、新成人へのインタビュー。久々に再会した友人へのメッセージや近況報告を話してくれました。

式典 11:30



金井裕明さんと鴻野友里さんが司会を務め、厳かな雰囲気の中、心に残る式典となりました。